

Title	表紙・目次ほか
Author(s)	
Citation	教育方法の探究 (2015), 18
Issue Date	2015-04-14
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/198372">http://hdl.handle.net/2433/198372</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

# 教育方法の探究

第 18 号

2014 年度

京都大学大学院教育学研究科  
教育方法学講座

# 教育方法の探究 第18号

## 目次

はじめに	西岡加名恵	i
目次		iii

### 戦後教育評価史に関する覚書

田中耕治 1

#### 【研究論文】

##### 小学校における「道徳」と「特別活動」の統合カリキュラムの可能性

——香川大学教育学部附属高松小学校における「働く意味」を問う授業の分析を通して——

山本はるか 13

##### パフォーマンス評価とICTを用いた理科の授業設計に関する一考察

——単元「もののとけ方」の事例に着目して——

大貫守 21

##### 社会的スキルの明示的指導における二つの立場

——協同学習論とソーシャルスキル教育論との比較検討——

福嶋祐貴 29

【教育方法学講座2014年度提出の修士論文・卒業論文題目一覧】 37

【教育方法学講座2014年度提出の修士論文・卒業論文要約】 38

#### 修士論文要約

大貫守・高矢和馬・福嶋祐貴

#### 卒業論文要約

植山兼次・奥原絹華・加藤夕貴・木村稔・小杉望・平岡和樹・森岡優季子・山川朋恵

教育学方法講座『教育方法の探究』執筆要綱 52

執筆者紹介 54

# 教育方法学講座紀要「教育方法の探究」執筆要綱

2003.1.16（作成）

2006.12.11（修正）

2014.1.15（改訂）

## 1)編集委員会の構成について

編集委員会は、京都大学大学院教育学研究科・教育方法学講座の教授、准教授、講師、助教によって構成される。

## 2)執筆者の資格について

論文の執筆資格に関しては、原則として、教育方法学講座に在籍する教員および博士後期課程の大学院生とする。ただし、修士課程の大学院生、研修員、日本学術振興会特別研究員などで、特に教員の推薦がある者については、編集委員会の承認を経て、執筆することができる。

## 3)執筆枚数について

論文の執筆枚数は、原則として、出来上がり 8 ページ（400 字詰め原稿用紙 40 枚程度）以内とする。書評は 2 ページ（400 字詰め原稿用紙 10 枚程度）以内とする。

## 4)執筆テーマについて

論文の執筆テーマについては、広く教育方法学に関わるものであれば特に制約を設けない。基本的に、各自の専門テーマ（例えば、修士論文のテーマ等）以外であっても（例えば、書評、研究ノートなど）執筆可とする。

## 5)論文題目の提出について

論文題目については、指導教員と相談の上、各年度 12 月最終週の月曜日までに編集委員会に提出するものとする。

## 6)論文原稿の提出について

論文原稿については、指導教員による査読を経て、各年度 3 月末日までに、電子化された文書ファイルとともに編集委員会に提出するものとする。

## 執筆者紹介（執筆順）

田 中 耕 治	京都大学大学院教育学研究科・教授
山 本 はるか	京都大学大学院教育学研究科・博士後期課程 (現所属 帝塚山大学教職実践研究センター 助教)
大 貫 守	京都大学大学院教育学研究科・修士課程
福 嶋 祐 貴	同 上
高 矢 和 馬	同 上
植 山 兼 次	京都大学教育学部・学生
奥 原 絹 華	同 上
加 藤 夕 貴	同 上
木 村 稔	同 上
小 杉 望	同 上
平 岡 和 樹	同 上
森 岡 優 季 子	同 上
山 川 朋 恵	同 上

## 編集委員 京都大学大学院教育学研究科・教育方法学講座

田 中 耕 治	教 授
西 岡 加 名 恵	准 教 授
石 井 英 真	准 教 授

### 教育方法の探究

第 18 号  
2014 年度  
(非売品)

2015 年 4 月 10 日 印刷  
2015 年 4 月 14 日 発行

#### 編集発行者

京都大学大学院教育学研究科・教育方法学講座  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
Tel.075-753-3046 (田中耕治)

印刷 キクザワ

Tel.075-432-0181